

中電病院 消化器内科後期研修プログラム

1) 目標

- ・内科臨床医として必要な知識の習得，的確なプライマリーケアが行える様に努める
- ・消化器内科として必要な知識，各種検査と技能を習得する
- ・診療録に必要な事項を性格に記載し診療を進めることや文書作成を適切に出来る
- ・チーム医療において他科医師や医療スタッフとの連携が取れる
- ・患者や家族に対して疾患，検査，治療に対して適切なインフォームドコンセントが出来る

2) 指導体制：

指導責任者：内科部長 河村 寛

指導者：金 宣眞，石飛 朋和，鍋島 宝

3) 後期研修医期間の教育の目標

- 1年目 血液生化学検査の理解 輸液 輸血の理解と実行  
 腹部エコー検査 上部内視鏡検査 腹水穿刺 胃チューブ挿入  
 CVカテーテル挿入
- 2年目 大腸内視鏡検査 大腸ポリープ切除 腹部血管造影 肝生検  
 イレウス管挿入
- 3年目 胃がん内視鏡治療 上部消化管出血止血術 経皮的胆道ドレナージ  
 ERCP 消化癌の抗がん剤治療

3年間にわたって消化器一般加えて内科一般の疾患を幅広く学習する。

4) 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	腹部エコー	胃内視鏡	腹部エコー	腹部エコー	胃内視鏡
午後	大腸内視鏡	大腸内視鏡	大腸内視鏡 腹部血管造影	大腸内視鏡 腹部血管造影	大腸内視鏡

肝生検，ERCP，EVL・EIS等は随時試行

5) カンファレンス

	月	火	水	木	金
早朝	内科				内科
午後		内視鏡 合同：外科・放射線科・病理 (隔週)		内科総合	

## 6) 処遇

処遇：勤務時間：8：30-17：00、当直回数：平均2-3回/月、

給与：1000-1100 万円/年

学会出張支援：2回/年（演者については追加支援あり）

## 7) 関連学会

<消化器科関連学会施設認定>

日本消化器病学会指定施設

日本内視鏡学会認定指導施設

肝炎インターフェロン治療指定医療機関

広島県肝疾患診療支援専門医療機関

厚生労働省協力型臨床研修施設

## 8) 診療実績：平成 22 年度実績

病床数：248 床

上部消化管内視鏡：約 7,600 件，下部消化管内視鏡：約 860 件，ERCP：44 件

腹部血管撮影及び関連手技：39 件，RFA：23 件，肝生検：38 件，IFN：52 件

## 9) 特徴

連携病院・医院から多種多様な患者紹介があり消化器疾患に限らず一般内科のプライマリーケアの研修を積むことが出来る病院である。

PETやリニアックをそろえていて、診断から治療まで行うことが出来る。

当院では他科の医師の助言や指導が受けやすく、またコメディカルとの連携も適切にでき、また病院が広島市中心地へあり、院外での研究会や研修にも参加しやすい環境を整えている。